

いずみさの教育

NOW
いずみ

問合先
学校教育課

公立小学校の英語活動

国際化・グローバル化が進み、物事を地球規模で判断したり解決したりしなければならぬ時代が来ています。国際社会をたくましく豊かに生きるために、そして関西国際空港の玄関都市として、外国の方々とコミュニケーションを図り、主体的に行動する力を育むことが必要となっています。

そのため今年度から、市内の全13小学校で、大阪府が作成したDVD「DREAM」を活用し、1年生から6年生すべての学年で週3回、1回15分の英語活動に取り組んでいます。

「DREAM」は、大阪府が国際共通語としての英語によるコミュニケーション力の基礎を築くことを目的として実施している「英語教育推進事業」の小学校での実践研究で得られた成果をもとに「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム（DREAM）」として完成させたものです。泉佐野市でも、その研究協力校として、平成26年度～27年度に一つの中学校区が参加しました。

●「DREAM」の特徴
●児童の発達段階を踏まえ、段階

的に4技能（聞く・話す・読む・書く）を育成していくプログラムとなっています。

●英語の4技能をバランスよく身につけるため、小学校1年生からフォニックス（英語の綴り字と発音の関係を重視した指導法）を活用しており、基本となる音のパターンが一通り学べます。

●週3回、1回15分単位の活動を基本に設計されています。

●学級担任は、活動の支援者として、子どもたちのコミュニケーションのモデルとなったり、気付きを促したりしながら共に学ぶ役割を担います。

「DREAM」は日常的な場面でのやりとりを中心としたアニメーションや英語の歌を通して、繰り返し英語の音声や文字に触れることで、子どもたちが楽しみながら自然に英語を学習していけるようになっています。

6年間の学びを通じて、子どもたちが将来に夢や希望をふくらませ、英語を使って自分の夢を語るができるようになることをめざしています。

学校園紹介

防災学習の取組 ～大木小学校～



本校では学期ごとに年3回の避難訓練に取り組んでいます。昨年度は2学期の地震・土砂災害を想定した訓練の後、「砂防ボランティア防災出前授業」を全校で受けました。実際の災害の映像も見せてもらい、日頃から「もしも…」のことを想定し、防災への意識を高めることの重要性を子どもたちとともに考えることができました。

また、3学期に、一般財団法人 防災検定協会が主催する「第3回ジュニア防災検定」を本校4～6年生の21人が受検する機会をいただきました。

「ジュニア防災検定」は、事前課題、検定テスト、事後課題がセットになった検定です。防災学習を行った後、事前課題として各家庭で保護者とともに防災や減災について話し合ったり、大規模災害時の避難の方法を確認したりしていただく取組を行い、4・5年生は初級、6年生は中級の検定テストに取り組みました。事後課題は防災新聞を作成したのですが、「朝日小学生新聞」の「新聞作り出前授業」を活用し、新聞の構成や見出しの作り方などを教えてもらいながら作成したため、子どもたちも楽しみながら課題に取り組むことができました。課題および検定の答案を送り審査していただいた結果、受検者全員にJBKバッジとともに合格証書が届けられました。テストには緊張感をもって臨んだ子どもたちでしたが、保護者と連携した取組であり、また、自分で考え、その考えを表現する取組であったため、一人ひとりの防災意識を高めることに繋がられたと思っています。



国際理解の取組 ～新池中学校～



2年生では、2学期後半～3学期にかけて国際理解に関する取組を進めてきました。その中で韓国・朝鮮の文化を知るために、歴史の学習やキムチ作りなどの体験学習を実施しました。

また、2月12日(金)には生野区にあるコリアタウンへ校外学習に行きました。現地では始めに郭さんからの講話をきかせていただきました。お箸や食べ方の違いなどについてお話しいただき、共に生きていくためには、まず違いを知ることが大切であることを教えていただきました。その後、班ごとに韓国・朝鮮の伝統芸能などの体験をし、コリアタウン・高麗市場でフィールドワークを実施しました。今回の校外学習の中で、文化の違いに直接触れ、新たな「気づき」が生徒の心に生まれました。

